シラバス照会

全学共通科目　全シラバスデータ（科目群別）

<< 最終更新日：2017年3月31日 >>

基本情報

科目種別	基礎科目群	**授業番号**	A766
学期	前期	**曜日**	月
科目	基礎ゼミナール	**時限**	5限
担当教員	西郡 仁朗	**単位数**	2
	特別申請科目		

担当教員一覧

教員	所属
西郡 仁朗	人社系

詳細情報

授業方針・テーマ	テーマ　【外国語として見た現代日本語の諸相】
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	本ゼミナールでは現代の日本語を外国語として眺め直したとき、どのような特徴を有しているのか分析します。また日本人同士また外国人とのコミュニケーションにその特徴を反映させることで見えてくる新たな可能性を探ります。
授業計画・内容 授業方法 授業外学習	書き言葉については、町の看板や標識など、言語景観について検討します。公共表示や民間表示にどのような特徴が見られ、外国人観光客や定住者にとってわかりやすいものになっているでしょうか。話し言葉については待遇表現の整理と「ポライトネス」理論との関わりを分析していきます。「ため語」も「敬語」も同じ次元で扱えるかもしれません。 書き言葉についても話し言葉についてもグループでの議論やフィールドワークを行い、意見をまとめていく作業やプレゼンテーション能力、最終レポートの作成能力が養われていきます。 それぞれの内容は 第１回：この基礎ゼミの内容紹介と、自己紹介を兼ねたコミュニケーションゲームによる受講者間の交流 第２回：「東京の言語景観」についての概説（講義とビデオ上映） 第３、４回：キャンパス周辺の言語景観調査（グループワーク）と分析 第５回：前回の続きとプレゼンテーション方法 第６回：言語景観調査発表（グループプレゼンテーション） 第７，８回：日本語談話のいくつかの特徴　聞き手としての行動、会話の際の協調の原則など 第９，１０回：現在の使い方のまとめ（文化庁「敬語の指針」）と敬語についてのFAQ 第１１回：敬語とポライトネス 個人プレゼンテーションとレポート作成について 第１２、１３回：「問題＜な＞敬語」発表 第１４回：まとめと最終レポート（「問題＜な＞敬語」）の説明とレポートの作成方法
テキスト・参考書等	下記の資料を教材として用います。 TMU mic-j ビデオ「東京の言語景観」http://nihongo.hum.tmu.ac.jp/mic-j/linguistic_landscapes/ 文化庁「敬語の指針」http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/sokai/sokai_6/pdf/keigo_tousin.pdf 参考書：滝浦真人(2008)『ポライトネス入門』（研究社）
成績評価方法	特別の事情がない限り、すべての授業に出席し、２回のプレゼンテーションと最終レポート、グループでの活動の参加度から総合的に評価します。
特記事項 (他の授業科目との関連性)	「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた多言語対応協議会」（事務局：都庁）と連携した課外活動も予定しています。
備考	

PDF出力

別の条件でシラバスを参照する

Copyright(c) 2001-2004 NS Solutions Corporation, All rights reserved.